

平成6年度 BELCA賞 表彰式



授
イフ・ビルディング部門 代表者
フォーム・ビルディング部門 代表者
以上

会長挨拶

(社)建築・設備維持保全推進協会会長 高木 丈太郎

会長の高木でございます。表彰式の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多忙のところ受賞者関係者並びに審査委員の方々には、ご出席を賜り、誠にありがとうございました。

さて、平成6年度 BELCA 賞は第4回を数え、今回も全国から優秀な作品をご応募いただきました。これも建物所有者をはじめとする関係者の、本賞の趣旨についての深いご理解の賜物と存じます。

また、審査に当たりましては、審査委員の方々が大変ご苦心されたとお話を伺っており、委員の方々には厚く御礼申し上げます。



表彰されました建築物が、今後も、我が国の良質な社会ストックの形成の範となるものと確信しております。受賞者の皆様、心からお慶び申し上げます。

審査委員長挨拶

BELCA 賞は、我が国における良好な建築ストックの形成に寄与することを目的として創設されており、既存の建築物を表彰する制度であります。

この制度は、二つの部門によって構成され、一つは竣工後20年以上経過している既存建築物で、建築物のロングライフ化を目指して適切な設計のもとに建設され、かつ、改修も含めて継続的に維持保全の実施された、その作品及び内部環境の特に優秀な建築物を表彰するロングライフ・ビルディング部門と、もう一つは、改修されて1年以上経過した建築物で、その長期的付加価値の増進を図って実施された物件のうち、作品及び内部環境の特に優秀な建築物を表彰するベストリフォーム・ビルディング部門であります。

建築物は、竣工後において長期間継続的に使用されるものであり、常に最適な利用環境とともに刻々に変化する社会、そして時代のニーズに対応した良好なストックとして存在することが大切であり、経年変化による老朽化の対策安全性等の機能的保持だけを想定した維持保全のみ行っていたのでは、社会的資本の面で陳腐化した建築物になりかねません。建築物を良好な状態に保つため、維持保全そして改修を広範囲及び多方面から検討し、これを推進することが、「フローからストックへ」といった社会背景においても重要な命題に應えるものではないでしょうか。

今回の公募により応募されました物件は、両部門ともに全国各地より広く分布しており、竣工、改修年度、そして、その建築物の用途も、公共ホール、銀行、美術館、そして事務所ビルと多岐にわたっておりました。

それぞれの各専門部会において、慎重に討議を

審査委員会委員長 岸谷 孝一



行い、その結果、審査基準となる評価項目に基づいて書類選考による第一次審査を経て、第二次審査の現地調査を実施しました。今回応募されましたロングライフ・ビルディング部門においては、関係者の気持のこもった良好な維持保全がつかさねられており、ベストリフォーム・ビルディング部門においては、熱意と創意工夫の凝らされた建築物を全般的に確認することができました。

そのような優秀な事例の建物が多い中で審査は、困難を極めました。最終的には、部会評価基準に基づいた総合評価にて、これから表彰を行いますロングライフ・ビルディング部門6件、ベストリフォーム・ビルディング部門4件、合計10件を平成6年度 BELCA 賞として選出いたしました。しかしながら、今回残念ながら入選から漏れました他の候補作品も入選物件に劣らない優秀な建物が多く、これらを支えます我が国の創造性豊かな設計思想、高度な施工技術、そしてそれに係わる管理者の志気の高さには改めて敬服いたしました。

また、現地審査に於いてご協力いただきました受賞者の方々には、この場をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。

平成6年度BELCA賞 LLB 部門専門部会審査総評

LLB 部門専門部会主査 太田 邦夫



第一次審査の結果、内容の優れた建物8件について第二次審査を行うこととなった。その内訳は業務施設4、集会施設3、展示施設1である。そのすべてについて全委員の参加による現地審査を行い、経年した建物の維持保全の経緯並びに現状を確認した。

現地審査の完了後、東京で審査員全員の部門審査会を開催し、各物件ごとに慎重に論議・検討を重ねた結果、今回は8件のうち次の6件がBELCA賞LLB部門の受賞候補たり得る作品として判断され、推薦されることとなった。

「宇部市渡辺翁記念会館」は、村野藤吾の設計による多目的ホールで、竣工以来永らく市民に親しまれたその清新なデザインは、近年の復元改修によって見事に保存されることになった。「東京文化会館」は、充実した維持管理体制のもと、多角的な音楽芸術を支える公共建築の代表としての役割を、建築時の期待通り堅実に果している。「大同生命江坂ビル」は、巨大な緑の空間をインテリア化することで地域社会に貢献するもので、その室内環境の鮮度保全に高度の技術を開発しながら今日に至っている。「ディックビル」は、都心に建った最初の純鉄骨造の高層事務所ビルで、その先見性を周到な計画に基づいた維持保全の努力で守り続けた建物である。「日本生命保険相互会社本店」は、1938年の構想を25年後の増築・改修の際も遵守し、御堂筋を代表する建築としての風格をいまでも示し続けている。「大原美術館」は、1930年の創設以来、地域の伝統を重視しながら個性豊かな建築群の維持管理に努め、周辺環

境を整えてきた実績が評価された。

このように、本年度の受賞候補作品のいずれもが、その建築の年輪と共に地域文化の拠点としての実績を積み重ねてきた建物ばかりである。そうした永い維持管理の過程の裏には、管理者と設計者、それに施工者の三者一体となった緊密な人間関係の歴史がある。内容的に遜色なくとも惜しくも選に漏れた他の候補作品も含めて、名建築の寿命は関係者の理解と熱意に支えられていることが、今回の現地審査を通じて最も印象に残る事項であったことを申し添えておきたい。

〈評価項目等について〉

1. 評価の視点

- ① 良好な建築ストックとして、デザイン及び構造上の価値があるのか
- ② 建物の維持管理の状況（体制と対策）が良好であるのか
- ③ 建物の維持管理に対して設計上の配慮がなされているか。また、それがロングライフに役立つ

っているのか

- ④ 地域に根づいた施設になっているのか

2. 具体的な評価項目

- ① 良い建築であること（改修後もデザイン・クオリティーが失われていないこと）
- ② 基本的に建てられた状況で現在も使われていること
- ③ このまま更に長期にわたって現状維持の状況で使う意志がオーナー側にあること
- ④ テナントや居住者が当該建物に満足していること（使い難くても満足している場合もある）

- ⑤ ビル管理体制の面で建物の保全に対する努力が大いに認められること（管理面がずさんでないこと。将来、保全状況の悪化が予想されないこと）

- ⑥ 設備・構造上に重大な欠陥が認められないこと

- ⑦ 地震・火災に対して安全な対策が講じられていること

- ⑧ 地域の人々に親しまれていること

- ⑨ 地域の人々の誇りになっていること

平成6年度BELCA賞 BRB 部門専門部会審査総評

審査に先立ち、評価基準としては昨年度までの基準を今年度も一応の目安とするが、この他にも考慮する点があれば基準を適宜修正するものとして、審査を進めることを申し合わせた。

つぎに、応募書類とスライドによって第一次審査を行い、6件を選んで現地での確認を数人ずつの委員会で行うこととした。第2回目の現地視察の直前に阪神大震災が発生した。神戸地区に第二次審査を予定した2物件があり、直ちに応募物件の被害状況の情報収集と審査の対応について協議した。幸いにも当該物件には大きな被害はなく、救助施設等として利用されているところから、応募者の希望を確認した上で、来年度に二次審査を行うことに決定した。その他の物件については現地視察を終了後、審査員全員の部門審査会を開催し、各物件ごとの視察報告をもとに慎重に

BRB 部門専門部会主査 武者 英二



討議を行って、表彰候補4件を選んだ。

今年度受賞の対象となった4件は、それぞれ異なった特徴を持っている。すなわち、「霞が関ビルディング」は、日本最初の超高層ビルディングであり、築後20年を期に、5年間にわたる様々な改修に伴うノウハウは、今後の超高層建築改修手法として、また、建築計画的にも貴重な資料を

得ることができた点が評価された。「熊本県立美術館分館」は、県立図書館として建設した2棟の建物を上手につないで美術館へと改築されたもので、公共建築のストックのあり方が評価された。「赤レンガ館」は辰野金吾の設計で、戦災復興そして今回の地域に根ざしたシンボリックな建築の再生と、80年に及ぶ建物管理と施工者（建設当初は設計担当者、後に施工会社を興した）の信頼関係と建築への愛着の歴史性が高く評価された。「第四銀行本店」は改修と増築を同時に行ったものであるが、地域の中心的な建物のイメージを失わずに、新築かともがうばかりの改修部分と新築部分の調和、さらに、街の人達の記憶を十分に残像させる設計手法が評価された。

このようなことから、結果的には当初の評価基準がそのまま適用されたとはいいいがたいかもしれないが、BRB部門の建築ストックの新しい地平を切り開くといった賞の趣旨に照らせば、表彰に値すると考えられる。BRB部門の評価に、また新しい視点が加えられたことは収穫であった。

〈評価項目等について〉

1. 良好な建築物の形成に寄与するものであるために、次項に合致していること

- ① 古い建物を十分に生かしているか
- ② 改修の結果、現在にふさわしい機能をもった建物となっていること
- ③ 改修の結果、デザイン的に優れたものになっていること
- ④ 改修の結果、機能的に著しく不都合な点のないこと
- ⑤ 改修の結果、周囲環境に調和していること

2. 次のいずれかの項目に優れた工夫が見られるか、これらに準ずる成果があること

- ① 新旧部分のデザインの調和
- ② 改築とせず、改修としたことの積極的意味
- ③ 著しい環境の改善
- ④ 維持管理のしやすさ
- ⑤ 施工法

平成6年度 BELCA 賞ロングライフ・ビルディング部門表彰作品一覧

表 彰 作 品	所在地/用 途	受 賞 者	
宇部市渡辺翁記念会館 (竣工年度1937年)	山口県宇部市/市民ホール	所 有 者 設 計 者 施 工 者	宇部市長 村野藤吾 (株)高砂工務店 大和建設(株) 村上建設工業(株) (株)佐々木建設 (株)中電工 新興電気工事(株) 富士管工(株) セントラル設備工業(株) (株)シャープ設備
		維持管理者	宇部市長
大原美術館 (竣工年度1930年)	岡山県倉敷市/美術館	所 有 者 設 計 者 施 工 者 維持管理者	(株)大原美術館 (株)浦辺設計 (株)藤木工務店 (株)大原美術館

(次ページにつづく)

表 彰 作 品	所在地/用 途	受 賞 者	
大同生命江坂ビル (竣工年度1972年)	大阪府吹田市/事務所	所 有 者 設 計 者 施 工 者 維持管理者	大同生命保険(株) (株)竹中工務店 (株)竹中工務店 大同興産(株)
ディックビル (竣工年度1967年)	東京都中央区/事務所、店舗	所 有 者 設 計 者 施 工 者 維持管理者	日誠不動産(株) (株)海老原建築設計事務所 (株)竹中工務店 日本ビルメンテナンス(株)
東京文化会館 (竣工年度1961年)	東京都台東区/文化ホール	所 有 者 設 計 者 施 工 者 維持管理者	東京都知事 (株)前川建築設計事務所 清水建設(株) 東京文化会館施設課
日本生命保険相互会社本店 (竣工年度1962年)	大阪市中央区/事務所	所 有 者 設 計 者 施 工 者 維持管理者	日本生命保険(株)本店 (株)日建設計 (株)大林組 三機工業(株) 日本オーチス・エレベータ(株) 星光ビル管理(株)

(作品は五十音順)

平成6年度 BELCA 賞ベストリフォーム・ビルディング部門表彰作品一覧

表 彰 作 品	所在地/用 途	受 賞 者	
赤レンガ館 竣工年度1913年 改修年度1993年	大分県大分市 /銀行・事務所・ホール	所 有 者 設 計 者 施 工 者	(株)大分銀行 (株)佐伯建設一級建築士事務所 (株)佐伯建設
霞が関ビルディング 竣工年度1968年 改修年度1993年	東京都千代田区/事務所	所 有 者 設 計 者 施 工 者	三井不動産(株) (株)日本設計 鹿島建設(株) 三井建設(株)
熊本県立美術館分館 竣工年度1958年 改修年度1992年	熊本県/図書館・美術館	所 有 者 設 計 者 施 工 者	熊本県 エリアス・トーレス・トゥール ホセ・アントニオ・マルチネス 大和設計(株) (株)浅沼組 坂口建設(株) 太陽電気(株) (株)東芝 広誠設備工業(株) (株)上田商会 三祐工業(株)

(次ページにつづく)

表彰作品	所在地/用途	受賞者
第四銀行本店 竣工年度1962年 改修年度1992年	新潟県新潟市/銀行	所 有 者 設 計 者 施 工 者 (株)第四銀行 清水建設(株) 清水建設(株) 大成建設(株) 鹿島建設(株) (株)福田組 (株)本間組 (株)加賀田組 第一建設工業(株) 丸運建設(株)

(作品は五十音順)

平成6年度審査委員会の構成及び委員

委員長 岸谷 孝一 (日本大学理工学部建築学科教授)

特別委員 梅野捷一郎 (建設省住宅局長)

藏 真人 (BELCA 専務理事)

LLB ◎太田 邦夫 (東洋大学工学部建築学科教授)

専門部会 ○三井所清典 (芝浦工業大学建築学科教授)

委員 石福 明 (早稲田大学理工学部建築学科教授)

猪股亀三郎 (東山興業(株)代表取締役)

小倉 善明 (株)日建設計常務取締役)

津野 治男 (株)東急コミュニティー常務顧問)

成田 好将 (三機工業(株)常務取締役東京本店長)

村尾 成文 (株)日本設計取締役副社長)

村松 映一 (株)竹中工務店総本店取締役設計本部長)

BRB ◎武者 英二 (法政大学工学部建築学科教授)

専門部会 ○曾根 孝一 (芝浦工業大学システム工学部環境システム学科教授)

委員 岡田 正照 (株)きんでん代表取締役副社長)

加藤 晃 (株)日建設計理事大阪環境・設備事務所所長)

清水 重男 (三菱地所(株)取締役第一建築部長)

古田 敏雄 (清水建設(株)専務取締役設計本部長)

降幡 廣信 (株)降幡建築設計事務所代表取締役所長)

宮 恭 (日本メックス(株)代表取締役社長)

守屋 秀夫 (千葉大学工学部建築学科教授)

◎：部会主査 ○部会副主査